

# 図書館だより



- 辻堂市民図書館のサービス業務をNPO法人へ業務委託しました・・・ P1
- 「ふじさわ子ども読書プラン2015」ができました・・・ P2
- 東北地方4紙の新聞閲覧サービスを始めました・・・ P3
- 総合市民図書館、辻堂市民図書館の駐車場有料化のお知らせ・・・ P3
- 慶應義塾大学湘南藤沢キャンパスが高校生・受験生に閲覧席開放・・・ P4
- 節電のお知らせ・・・ P4



## 辻堂市民図書館のサービス業務をNPO法人に業務委託しました

2011年4月1日より、辻堂市民図書館のサービス業務を「NPO法人 市民の図書館・ふじさわ」に業務委託しました。

「NPO法人 市民の図書館・ふじさわ」は、今までの本市図書館の発展を支えていただいた市民の方々、ボランティアの皆様、図書館関係者で設立された団体です。現場の図書館スタッフは、今までサービスに従事していた経験豊かな市民スタッフです。

なお、7月下旬からアンケート調査を実施しております。NPO法人になって、辻堂市民図書館の運営を利用者のみなさんがどのようにお感じになっているかをお聞きし、今後の運営に役立てたいと考えております。ご協力をお願いいたします。



辻堂市民図書館

### 「NPO法人 市民の図書館・ふじさわ」の理念

「NPO法人 市民の図書館・ふじさわ」は、地域や市民生活に根を下ろし、熱意あるスタッフを育成し、資料と人、人と人を結びつけ、世代間交流という場をつくり、生涯学習の基礎である図書館サービスの提供に参画します。「学ぶ楽しさ」「知る喜び」「役立つ情報」「深い思索」「やすらぎ・ふれあい」が得られる「市民の図書館」を目指し、市民の力と行政との協働により、藤沢市図書館を支えていきたいと思ひます。

（「NPO法人 市民の図書館・ふじさわ」 設立趣旨書より）

【市民図書館】 総合市民図書館（Tel.43-1111）南市民図書館（Tel.27-1044）辻堂市民図書館（Tel.35-0028）  
湘南大庭市民図書館（Tel.86-1666）

【市民図書室】 長後（Tel.43-7655） 明治（Tel.35-7095） 辻堂（Tel.35-7076） 村岡（Tel.28-6939）  
片瀬（Tel.28-6935） 遠藤（Tel.88-6235） 六会（Tel.83-4686） 善行（Tel.83-4687）  
藤沢（Tel.28-6895） 鶴沼（Tel.35-7096） 御所見（Tel.48-4675）

図書館のホームページ <http://www.lib.city.fujisawa.kanagawa.jp/>



# 「ふじさわ子ども読書プラン2015」ができました

平成18年に策定した「藤沢市子ども読書活動推進計画（第1次計画）」の計画期間終了に伴い、子どもたち一人ひとりが自分にとってかけがえのない本に出会い、より豊かな人生を送れるよう、その成長を願って、「ふじさわ子ども読書プラン2015 第2次子ども読書活動推進計画」を策定しました。



## 〈ブックスタートなど乳幼児とその保護者に向けた支援〉

ブックスタートのほか、市が行う乳幼児健診など各種母子保健事業とも連携し、乳幼児やその保護者が読書に関心を持つ機会や、子どもと本に関する情報の提供について、より一層の充実を図ります。

## 〈図書資料の充実とおはなし会〉

市民図書館・市民図書室以外にも、児童館、地域子供の家、児童クラブなど、子どもに関連した施設等の図書資料の充実や、おはなし会の開催など、さまざまな場面において読書に親しめる環境づくりに努めます。

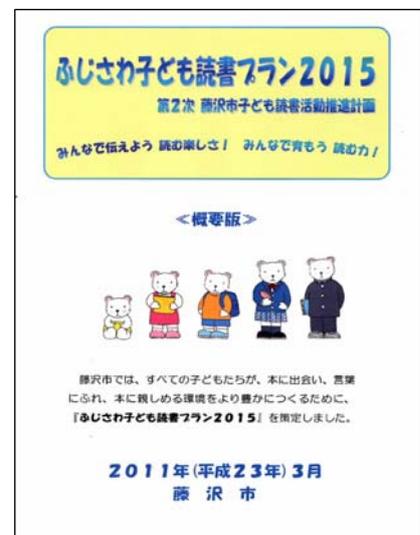


## 〈学校図書館の充実〉

今年4月に市内市立小・中学校全校に配置された学校図書館専門員と、司書教諭、学校図書室支援ボランティアとの連携のもとに、子どもにとって魅力があり利用しやすい「本がある 人がいる 行ってみたくなる」学校図書館づくりに取り組みます。

ほかにも、一人の子どもが成長する過程の発達段階にあわせ、家庭・地域・学校・ボランティアなど、社会全体で子どもの読書活動を支えるために、第1次計画に引き続き、さまざまな施策に積極的に取り組みます。

「ふじさわ子ども読書プラン2015 第2次藤沢市子ども読書活動推進計画」は、市民図書館、市民図書室、及び図書館HPで閲覧することができます。ぜひ一度、ご覧ください。



# 東北地方4紙の新聞閲覧サービスを始めました

藤沢市総合市民図書館「くつろぎコーナー」の一角に新しく、東日本大震災被災地の様子を伝える東北地方の地元新聞4紙を置きました。

東日本大震災により被災地から避難された方、被災地にゆかりのある方々に「ふるさと情報」を届けようと企画いたしました。

この大震災からの復興と、今後の日本社会の在り方を考える時、より広く皆様にもお役に立てるものとなれば幸いです。



<b>河北（かほく）新報</b> 5月1日より所蔵	宮城県を中心に東北6県で購読。創刊以来同一題号・同一社名・同一経営・同一発行所を貫いている。	朝夕刊
<b>福島民報</b> 5月10日より所蔵	福島県紙。地域密着型。発行部数は福島県内最多。	朝刊のみ
<b>岩手日報</b> 5月8日より所蔵	「岩手新聞」として創刊。1951年「岩手日報」に改題。	朝刊のみ
<b>石巻日日（ひび）新聞</b> 6月1日より所蔵	石巻広域圏2市1町で購読。 震災直後から壁新聞で被災地等6カ所に被災状況や生活情報を張り出した。そのジャーナリズム精神を高く評価され米ワシントンの報道博物館「ニュージアム」や横浜の「日本新聞博物館」に展示され話題となる。	夕刊のみ

※いずれも郵送で届くため発行日より2・3日後からの閲覧になります。

※石巻日日（ひび）新聞は慶應義塾大学湘南藤沢メディアセンターより寄贈いただいています。

## 総合市民図書館、辻堂市民図書館の 駐車場有料化のお知らせ

2011年4月1日から総合市民図書館・辻堂市民図書館の駐車場に2時間を超えて駐車された場合、料金がかかります。

入場の際、「藤沢市図書館内駐車場整理券」をお渡しします。お帰りの際は認証印が必要になりますのでカウンターにお越してください。

2時間まで無料ですが、2時間を超えて利用した場合、30分ごとに100円かかりますので各館所定の場所で納付してください。

なお、駐車場の台数には限りがあるため、今後とも1時間以内のご利用にご協力いただきますようお願い申し上げます。



# 慶應義塾大学湘南藤沢メディアセンターが 高校生・受験生に閲覧席を開放します!!

慶應義塾大学湘南藤沢キャンパスのメディアセンター（図書館）では夏休み期間中、藤沢市内の高校生と受験生に閲覧席が開放されます。

本の貸出はできませんが、館内の資料は自由に見ることができます。高校生・受験生のみなさん、ぜひこの機会に利用してみませんか？

期間 2011年8月1日（月）～8月31日（水）

\*ただし、日曜日・および8月11日（木）～17日（水）は休館

開館時間（月）～（金） 9:15～18:00

（土） 9:15～16:00

対象者 藤沢市内の高校生・受験生（在住または在学）

手続き 入口カウンターで生徒手帳を提示し、入館受付票に記入。

\* 受験生は予備校の学生証か、在宅であれば自宅住所を証明する保険証・免許証などを持参。



<問い合わせ先>

慶應義塾大学湘南藤沢メディアセンター 〒252-0882 神奈川県藤沢市遠藤 5322

閲覧担当 0466-49-3429（月～金 9:00～17:00）

## 節電のお知らせ

東日本大震災に伴う東京電力による節電要請により、館内照明の一部消灯、OPAC（資料検索機）の一部稼働停止（平日のみ）、冷房の28度運転を実施しております。

館内にて“うちわ”の貸出も行ってあります。どうぞご利用ください。

利用者の皆様には、ご不便をおかけしますが、ご理解とご協力をお願いいたします。



### 編集後記

今号は、東日本大震災後のはじめての「図書館だより」です。

被災されました皆さまには心よりお見舞い申し上げます。

総合市民図書館では、復興支援として、東北地方の地元紙4紙の新聞閲覧サービスを始めました。

どうぞご利用ください。

発行 藤沢市総合市民図書館  
藤沢市湘南台 7-18-2  
TEL 0466-43-1111